

将軍談義

第二回

西川流四世家元

西川千雅 × 将軍家康

げいどころ

ホントに名古屋は“芸処”なの？

かつて『芸どころ名古屋』といわれていたこの地域。しかし、現代ではその言葉を聞くことが減るどころか、知る人も少なくなっています。“そもそも、名古屋の芸能ってどんなものなの？どんな状況なの？”その疑問を、「名古屋をどり」で知られる日本舞踊の西川流家元・西川千雅さんに尋ねます。名古屋の芸能の過去・現在・未来、ジャンルは古典芸能からアイドルまで。他地方との比較から、西川さんが精力的に関わっている「どまつり」や「やっとかめ文化祭」、「あいち戦国姫隊」まで。名古屋を盛り上げるために、名古屋の芸能をどう活かすべきか。向かうべき方向や戦略などを、西川千雅さんと家康公が談義します。

- 日時 : 11月28日(金) 開場18:30～ 開演19:00～21:00
- 場所 : 名古屋テレビ塔3階
- 出演 : 客人/ 日本舞踊 西川流四世家元・西川千雅氏
主人 / 徳川家康公 助手/陣笠隊・踊舞
- 特典 : 西川千雅氏が推薦する”名古屋のおみや”が抽選で当たる！
- 定員 : 60名 ※申込者が定員を越える場合は抽選となります。
その場合、11月19日×切、11月21日に当選の有無をメールでご連絡する予定です。
- 費用 : 1人1,500円 ※イベント当日にお支払いいただきます。
- 申し込み: メールに下記を記載の上、お申し込みください。
◎参加者の氏名、性別、年齢、メールアドレス(パソコン推奨)、
電話番号(ケータイ推奨)
◎申し込み・問合せアドレス: iimoto-ai@busho-tai.jp
⇒名古屋おもてなし武将隊 地元愛プロジェクトまで
- 協力 : 名古屋テレビ塔株式会社
公益財団法人 名古屋観光コンベンションビューロー

出演者プロフィール

日本舞踊 西川流四世家元 西川 千雅



1969年、西川右近(西川流三世家元)の長男として名古屋市に生まれる。5歳のときに初舞台。15歳で西川千雅を名乗り、84、88年「名古屋をどり」北米公演に参加。名古屋のインターナショナルスクールNISを卒業後、渡米。ニューヨークの美大SVAを卒業。

以後、日本舞踊家として本格的に活動。60回以上続く日本舞踊長期公演「名古屋をどり」公演他、数多くの舞台に毎年出演、99年NHK「芸能花舞台」舞踊劇「望月の駒」主演。2000ドイツ万博にて日本代表として舞踊を披露。2005愛・地球博開会式、閉会式に出演。舞踊以外の活動では東海学園大学・愛知淑徳大学などの非常勤講師、アートパフォーマンス、コラム執筆、ラジオDJ、あいち戦国姫隊プロデューサー、につぼんど真ん中祭りではチームプロデュースなども行う。2014年9月に西川流の家元を継承した。

名古屋おもてなし武将隊 徳川 家康



名古屋城にて観光客をおもてなしする名古屋ゆかりの武将集団『名古屋おもてなし武将隊』の一武将。400年前に幕府を開いた経験から街づくりには人一倍関心が強く、博識高い文化人。英語も堪能で、世界情勢にも常に目を向けている。料理が得意であり『徳川家康の食べる味噌』を商品化し販売。ウエスティンナゴヤキャッスル日本料理 西の丸では料理長とコラボレートしたメニューを毎月展開。街づくり施策として410年ぶりに円頓寺界隈に幕府を開き、新名物料理『円むす』を開発し多店舗で展開中。環境誌RISAのコラム『ジネンで行くのじゃ』を執筆。名古屋テレビ塔での清掃活動参加。「名古屋の街をよくしたい」という人一倍強い思いから、今回の企画をスタートさせた。

談義
助手

とうま 踊舞(陣笠隊)

『名古屋おもてなし武将隊』の陣笠隊メンバー。名古屋テレビ塔の清掃活動に参加。武将隊の瓦版の編集人。体力には自信があり、地元愛プロジェクトでは数々の山に登り東海地方の自然の魅力を発信。甘味が大好き。



將軍談義とは？

名古屋を、
世界一の街にするために

將軍・家康公は、本当は名古屋に日本一の幕府をつくりたかった！？名古屋おもてなし武将隊として蘇った今、家康公はその夢は捨てず、それどころか、今度は名古屋を「世界一の街」にすることを目指しているという。そのために、文化、芸能、観光、食、モノづくりに関して多くの名古屋の知恵者に会って対談し、名古屋の発展につなげる企画。